

北海道国際理解教育研究協議会

会長 中村 淳
事務局長 古里 和雄

会報 第85号

第1回理事総会・研修会より

今年度第1回目の理事総会・研修会が大会前に開催されました。研修会に先立ち、中村会長より現在審議が進められている「外国語活動」の教科化や3年生からの導入など本会の果たす役割が大きくなっていること、背景にあるグローバル化へ向けた「小・中・高」の在り方を見据えた取組の重要性等、今後期待されることをお話いただきました。

また、ご来賓として全海研幹事の藤彰夫先生からは、最近の在外施設派遣教員の現状や課題、シニア派遣の増加が見込まれること等お話されていました。現在、本会でも進められている派遣経験者からの情報を教材化することについても触れられ、全海研でも派遣された方々の貴重な情報を活かし、子どもたちへの活かした教材としていきたいことを熱く語られていました。



理事会の中では、組織の活性化に向けて各地区でどのような取組を行っているかを情報交流しました。釧路地区では、帰国者を地区総会で紹介しながら地区研究へ積極的に関わってもらうようにしていました。石狩地区では、地区研究の課題別分科会に国際理解が位置づけられ、ワークショップ等の活動を行いながら会員外へも積極的に呼びかけを行っているようです。また、上川や帯広では、JICAと連携をしながら子ども支援に参加してもらったり、地区ホームページで情報を発信したりすることで、活性化へつなげているようです。

各地区の研究部長は、この間、別室で次年度以降の研究の方向性について話し合いをもちました。



授 業： 2年2組 「お話しじゅつかんを作ろう」

授業者： 教諭 菊池 杏子（釧路市立朝陽小学校）

授業を参観して

塩田 英樹（栄東小学校）

まず初めに、この単元で取り組む学習の流れ「絵本を探す→読んでお気に入りの場面を見つける→絵をかく→紹介カードを書く→美術館を完成させて紹介する」についてフリップをつかって一つ一つ順に提示をしていました。（その中でお気に入りの場面を描いた絵『ブレーメンの音楽隊』を紹介し、これからやること“絵本を探す→お話を紹介する”の意義を確認させていた。）子どもたちに「これから何のためにその作業をするのか」ということを明確にする、こうした学習の見通しをきちんともたせることは、とても大切なことである。

次に、英語で書かれている絵本『ふたりはともだち』から、外国の言葉でかかっている絵本があるということを示し、これから世界にあるたくさんのお話と出会うことを紹介しました。そして、用意した絵本がどこの国のお話なのか国旗を使って紹介し、世界地図に記すことでどの場所にあるかを示していました。

そして、いよいよ世界のお話の本との出会いである。覆われたブルーシートを取り除くと、後方を取り囲むように並べられた4台のテーブルには、地域ごとに分けられたたくさんの本が並べられ、とても興味津々で「早く読んでみたい」という様子が伺えました。本には国旗のマークに小さく国名がつけられ、どこの国かわかるようにしてあり、それぞれ子どもたちは面白そうな本を手に取りながらいろいろな本を試し読みする子や、真ん中のシートに座ってじっくり読みふける子など、興味をもって読む作業に取り掛かっていました。

国や文化を超えるメッセージ性をもつ“お話”や“絵”を使って、低学年の国語の授業でどのように国際理解を図る授業が取り組むことができるのか、という提案性のある授業でした。



授 業：3年C組 道徳「世界の中の日本人」

授業者：教諭 齊藤 貴文（北海道教育大学附属釧路中学校）

授業分科会に参加して

永洞 純一（福移小学校）

「世界の中の日本人」の授業を進めるにあたって、「目に見える文化」には、気づきやすいが、「目に見えない文化」を尊重することの難しさがある。中学3年生として、国際的な視野を広げ、他国と自国の文化の違いや良さに気づき、お互いの文化を尊重する心情を育てたいとの目標での単元設定。学習の中では、生徒の交流、ねらいにせまるための発問の工夫、考えさせるための事例や説話の準備などが意識されていた。「違い」だけに着目しがちだが、「同じ」部分についても着目して取り上げていくといいのではないかという意見もあげられた。また、「日本人が外国の人を家に招いたときに、土足で入られたらどう思うのか?」、生徒たちには、逆の立場でそうした文化の違いを意識させてもテーマに迫ることができたのではないかという声もあった。「郷に入っては……」という言葉から、何でも従うべきなのか?それとも日本人だからこその習慣にしたがわず、日本の習慣を通すべきなのか?ということではなく、その国の文化の背景をしっかりと理解した上で行動することも大切であるという意見も述べられた。国際社会において、その立ち居振る舞いがある人個人のみならず、その人の国民性、ひいては国そのものに捉えられかねない部分もある。そういった点からも、「郷に入っては郷に従え」について再考させられるものであった。



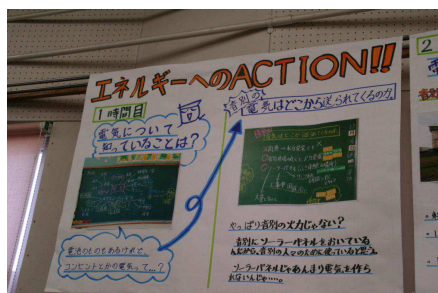
授 業：第6学年（単学級）「エネルギーへのAction!」

授業者：教諭 綿谷 泰（釧路市立音別小学校）

授業を参観して

佐々木 歩（大倉山小学校）

発電所を擁する音別という地域ならではの教材化で授業を行っていた。自分たちの住む町の発電所から出発し、火力や風力などの発電方法について、見学等を通して調査活動をする中で、次第に発電方法と環境負荷との関係に目を向けていく。本時では、音別に必要な発電量と、それまで調査してきた発電方法に関する情報とを関係付けることで、改めてそれぞれの発電のメリットやデメリットを見つめ直し、自分の住む地域の特色や自然環境の大切さ等に気付いていく1時間であった。



第3分科会

発表者： 教諭 佐々木 真（留萌市立留萌小学校）
教諭 能代 仁（せたな町立瀬棚小学校）

第3分科会に参加して

永洞 純一（福移小学校）

コミュニケーション能力をはぐくむ外国語活動の実践 留萌市立留萌小学校 佐々木 真

「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」という部分では、子どもたちの「目的意識をもちながら学習」できるような工夫をしている。「自分の行きたい国には、こんな素敵なことがある。」とアピールすることから英語の必要感をもたせ学習を進めている。

「外国語への慣れ親しみ」という部分では、意図的な学習計画を設定したり、ゲームを通してたくさんの表現方法を繰り返し習得させたりしている。

「言語や文化に関する気づき」という部分では、外国の食や有名なものを取り上げ、日本との違いや外国ならではの文化に気づくような工夫をしている。

もう一つの窓がひろがる国際理解教育の実践 せたな町立瀬棚小学校 能代 仁

学級担任とALTによる外国語活動の推進にあたっては、ネイティブのALTの活きた英語に触れる時間をつくってきたが、今年度は、ネイティブではないALTとなり、指導方法、指導過程の詳細を確認し、綿密に打ち合わせを進めている。もちろん、ネイティブのALTにより、その出身国のことにも関心をもったり、別の面からも国際理解の学習を進めたりすることもできるが、授業以外にも外国語に関心をもつ取り組みを推進している。中でも、「英語（アルファベット）を実際に表記（板書）して授業で取り上げるのはどうか？」ということが話題となった。

小学校外国語活動と中学校「英語科」の小中連携の部分も話題となった。小学校外国語活動では、中学入学までに少しずつ力をつけようという位置づけにある。小学校で「英語を書きなさい」ということはない。しかし、「英語で書くな」と言うことではない。

小学校では、「読み」「書き」「聞く」「話す」の部分の「聞く」「話す」を小学校で行う。音声中心であることは、間違いは大目に見ることができる。

外国語活動の学習の中での工夫としては、例えば、「When is your birthday?」では、クラスの友達同士は、お互い知っている部分も多い。必要性をもたせるためには、「When is special day?」なら想像したり、考えたりする必要性を含むことができる。また、発音練習などでは、「Repeat after me.」を繰り返して発音しても身につけていることではない。やはり、必要性をもたせ学んでいくことが大切である。



派遣教員及び帰国教員研修会のお知らせ

いよいよ今年も残すところ僅かとなってしまいました。会員の先生方におかれましては、学期末を迎え、お忙しい日々を送っていたことと思います。

さて、今年度最後の大きな活動になります表記研修会ですが、在外教育施設へ派遣され、戻られた先生方を囲んで、「北海道の子どもたちへ生きた情報」を発信できるよう情報交流をしていきます。また、在外教育施設派遣教員へ応募された先生方におかれましては、派遣先の決定を今か今かと待ちわびていることと思います。これまでに在外施設を経験された先輩方から有用な情報をお聞きになり、派遣への準備に備えていただければと思います。

また、在外教育施設への派遣に興味をお持ちの方々も会員の皆様の周りには、たくさんいることと思います。是非、この機会にお誘い合わせの上、ご出席いただきたいと思います。

派遣教員及び帰国教員研修会

日時：平成26年1月8日（水）

13：00～17：00

研修会終了後、派遣教員の激励会を行います。

場所：JICA北海道

札幌市白石区本通16丁目南4-25

時程

- 10：00～ 理事総会・理事研修会
- 12：30～ 派遣教員及び帰国教員研修会 受付
- 13：00～ 開会式・全体研究会・帰国報告会
- 15：45～ 派遣地域別研修会
- 17：00～ 閉会式
- 17：30～ 派遣教員激励会（～19：00）
※参加費は、当日徴収いたします。

